

子育て保育研究支援基金

発達保育実践政策学センター (The Center for Early Childhood Development, Education, and Policy Research=**Cedep セデップ**) では、子どもの育ちを支えるより良い環境とは何かについて明らかにするため、乳児期からの子どもの発達に関する長期縦断研究(長期にわたる人の成長発達の追跡調査)を実施しています。また、情報理工学系研究科との協働で、最先端の AI、IT、センシング技術を用いて子育て・保育の実践を可視化し、データを収集するとともに、保育者や保護者に情報提供する「保育スマートテック(スマートテクノロジー)」システムの開発を進めています。こうした研究で得られたビッグデータを解析・活用し、乳幼児期の保育・教育政策への提言や、子育て・保育の実践に役立つ知の社会的発信を積極的に行うことで社会に貢献してまいりたいと考えています。

研究を今後も継続的に行い、知見を社会に還元していくためには、安定的な財政基盤が必要です。

皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

Cedepへのご支援は 東京大学基金を通じてのご寄付となります

お申込み方法

<書面によるお申込み>

所定の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、各金融機関よりお振込下さい。寄付目的欄に「子育て保育研究支援基金」とご記入ください。

<Web によるお申込み>

東京大学基金ホームページから、下記の方法でお申込みいただけます(クレジットカード・ペイジー・ネットバンキング)。

東京大学基金ホーム▶(画面中段右端) プロジェクトカテゴリー一覧▶(最下段) その他の寄付募集企画▶(画面下方) 『子育て保育研究支援基金(教育学研究科)』▶ご寄付のお申込みはこちら→
<http://utf.u-tokyo.ac.jp/2017/08/post-1c8c.html>

携帯電話・スマートフォンからのご寄付は右QRコードからお願いいたします。



ご寄付についてのお問合せ

東京大学基金事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1
電話：03-5841-1217
Fax：03-5841-1219
E-mail kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
URL <http://utf.u-tokyo.ac.jp>

研究内容についてのお問合せ

東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
教育学研究科内
電話・Fax：03-5841-8311
E-mail cedep@p.u-tokyo.ac.jp
URL <http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>

ご寄付への感謝は
当センターwebサイトを
ご覧ください



東京大学教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター セデップ Cedep

『子育て保育研究支援基金』 寄付のお願い



子育て保育にかかわる学術の推進と知の社会的還元のため、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

教育学研究科長挨拶

教育学研究科長 秋田 喜代美



子ども子育てに関する課題は、多岐に渡っています。当センターでは、ヒトの最初期の発達メカニズムの解明をさらに進め、これからの社会を担う子どもたちの育ちにとってどのような生活環境や養育、保育、教育が求められるのかについて、そのための専門家人材の育成や社会システムの構築、制度政策のデザインを含め、学際的な研究に取り組みながら明らかにしていきたいと考えています。そして、最新の学術的知見を保育界、教育界の人と共有し、すべての子ども、保護者、保育者の幸せを願う社会創造の一端に取り組みたいと考えています。それが発達科学に基づく「発達保育実践政策学」です。

センター長挨拶

センター長 遠藤 利彦



設立から4年、当センターは、「あらゆる学問は保育につながる」をスローガンとし、子育て・保育、発達基礎、政策、人材育成の4つの領域で、先端的な研究に取り組んできました。また、データ活用によるスマート化「子育て・保育現場における Society 5.0」を目指し、現場に応用するための研究を進めています。

私たちは、日本の次世代を担うだけでなく、「いま」「ここ」に生きる一市民である子どもたちの育ちの場に重きを置き、子育て・保育の質の保障と向上に関わる様々な課題の解決に向けて、中核的な役割を果たしていきたいと考えております。

組織と研究ネットワーク

- ✓ 乳幼児の心身発達・家庭内外の生活環境に関する園・家庭等の縦断的な大規模パネル調査と小中規模サンプルでの観察・面接調査
- ✓ 保育の質向上にかかわるシステムの検討や保育者の保育スキル・実践知と職場環境等に関する調査

- ✓ 国内外の乳幼児保育行政政策に関する比較調査研究
- ✓ 知の集積とデータベースの運用
- ✓ 政策提言

学内連携部局



- ✓ 乳児の睡眠・食事・外界や他者との相互作用等の基盤となる、脳・身体・行動の仕組みの解明
- ✓ 実践における基礎科学知識の提供・流布

- ✓ 乳幼児保育を社会システムに位置づけて政策へ連結するあり方の検討
- ✓ 知財育成プログラムおよび教材の開発と評価
- ✓ 各層の人材の輩出・リーダーシップ、知財管理システムに関わる調査研究

学外ネットワーク



センターのこれまでの主な活動

- 保育者のスキル・実践知と職場環境等に関する調査
- 国内外の乳幼児保育行政政策に関する比較調査研究
- 幼児保育を社会システムに位置づけて政策へ連結するあり方の検討、政策提言
- 乳児の脳・身体・行動の仕組みの解明
- 公開シンポジウム、合同セミナー、等の開催

出版物

『あらゆる学問は保育につながる
～発達保育実践政策学の挑戦～』
(東京大学出版会、第3版)



設立経緯

当センターは、乳幼児の発達や保育・幼児教育の実践、そのための政策に係る研究を推進する「発達保育実践政策学」という新たな総合学術分野の確立をめざして設立されました。子ども子育てに関わる課題は、多岐にわたっています。東京大学内の研究者はもとより、国内外の研究者や研究機関、子育てや保育・教育を実践している方々やその団体、実践のための制度に関わる国や自治体と連携し、子ども子育ての課題を協創探究し、解決の道筋を国際的に発信することを目的とする新たな研究拠点です。